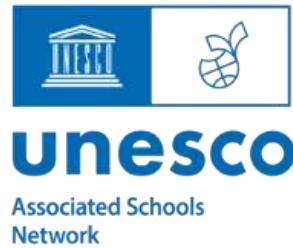


TOMIYA UNESCO NEWS LETTER

令和 7 年度 第 1 号 ユネスコ企画部発行 2025 年 6 月



～持続可能な社会を目指して 学びを深める生徒たちの姿～

30回生「収穫祭」～課題研究発表会 本選～

4月19日(土)の午前、本校3年生による課題研究発表会「収穫祭」が開催されました。今年度のテーマは「持続可能な地域とまちづくり」。生徒たちは富谷高校を“仮想市役所”に見立て、地域が抱える課題に対し、約半年間の探究を通してその解決策を模索してきました。

この日は、3月21日の予選を勝ち抜いた9チームが本選に出場。各チームは、積み上げたデータや検証結果をもとに、熱意あるプレゼンテーションを披露しました。審査員には、富谷市長をはじめ、宮城大学・宮城教育大学の先生方、PTA会長などをお迎えし、専門的な視点からの質疑も行われました。緊張感の中にも、自信と誇りをもって発表に臨む生徒たちの姿が印象的でした。

どのチームの発表も、地域課題への深い理解と論理的な提案が際立っており、審査員からも「伝える力と構成力が非常に高い」「エビデンスに基づいた解決策が素晴らしい」と高評価をいただきました。

後輩の皆さんかどのような“実り”を見せてくれるか、今から楽しみです

入賞者の紹介：

第1位(持続可能な地域とまちづくり大賞)・特別賞：教育部 G3班「捨てないで！！YOUR OPINION」

第2位：市民生活部 C3班「富谷市を資源循環型社会にするためには」

第3位：経済産業部 E3班「奇跡のお茶が繋ぐ未来」



お知らせ

本校30回生の課題研究の取り組みが、
JA新みやぎの広報誌「新みやぎのわ・わ・わ」
7月号に掲載されます。収穫祭で入賞した
3チームが取材を受け、研究内容や活動の様子
が紹介される予定です。ぜひご覧ください。

1学年ユネスコ・オリエンテーション

4月11日(金)、1年生を対象としたユネスコ・オリエンテーションが行われました。本校はユネスコスクールに加盟しており、ESD(持続可能な開発のための教育)の視点から、日々の学びと行動が地域や世界の未来につながっていることを学びました。

これからの探究活動の土台となる意識づけの時間となりました

生徒の感想から:

「3年間かけて、世界の諸課題であるSDGsの解決に貢献できることがわかりました。」

「正解はないので、私たちが考えること、考え続けることが大切だと思った。」

「自分たちが自分たちのフィールドで、学んで、考え、行動していきたい。」

1学年・ESD講演会(国際分野)

5月22日(木)の5・6校時、1年生を対象としたESD講演会(国際分野)が開催されました。宮城県国際化協会(MIA)のご協力により、6か国出身の6名の講師をお招きし、各クラスでの講演と交流が行われました。

講師の方々には、各国の歴史・地理・自然などの概況と、日本との関わりやその違い、また各国の言語や音楽などの文化をプレゼンテーションしていただき、各クラスで生徒との国際交流を深めつつ質疑応答なども活発に行われました。

異文化への理解を深めるとともに、国際的な視点でSDGsを考える良い機会となりました

生徒の感想:

「自分の国の近くに、こんなにも文化の違う国があったことにとても驚きました。どちらの国もそれぞれ魅力がたくさんあって、一度行ってみたいと思いました。今回の講演で、日本以外の国について知ることの楽しさや、他国と日本の関係を知ることができました。」

「他国は、文化や食物、環境が日本と全然違っていたので、初めて見る、知ることばかりでとてもためになりました。そして、楽しかったです。今後は違う他国にも興味をもって調べられたらいいなあと思いました。」

